プロパンガス及び一酸化炭素警報器　取扱説明書

この度は【キャンプシグナル】をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用前に注意事項をよく読み正しくお使い下さい。

1 キャンプシグナル

【キャンプシグナル】にはプロパンガス警報器と一酸化炭素警報器の2タイプがあります。どちらもDC12V専用で、6V以下の電圧では作動しません。**許容電圧は10.2V～13.2V**で、この範囲を越えると内部電子回路が破損する恐れがあります。

2 キャンプシグナルP（赤）

【camp-signal P】は**赤色**のボディで、プロパンガス0.5%・ブタンガス0.4%・天然ガス1.0%に反応するよう設定されています。

3 キャンプシグナルC（黄）

【camp-signal C】は**黄色**いボディで、一酸化炭素200ppmと煙に反応するよう設定されています。

4 キャンプシグナルP（プロパンガス警報器）の取付け場所

【camp-signal P】**（赤）**はガス機器の近くで、出来るだけ床に近い（少なくとも20cm以内）の**低い位置**に取付けて下さい。液体ガスは空気より重く、水の様に常に低い場所、低い場所へと広がります。
天然ガス（メタン）を対象とする場合は、空気より軽いため、部屋の高い場所に取付けて下さい。

5 キャンプシグナルC（一酸化炭素警報器）の取付け場所

【camp-signal C】**（黄）**はガス機器の近くで、出来るだけ天井に近い、**一番高い場所**に取付けて下さい。
空気中の酸素がクッキングストーブ等によって奪われたり、十分な換気がされていない場合注意が必要です。
一酸化炭素は空気より軽いため上方から貯まりはじめ、徐々に下に下がってきます。

6 取付け方法

【キャンプシグナル】は裏面の両面テープや付属の木ネジで取付けます。
両面テープの場合：接着前に接着面のゴミや油分を十分取り除いて下さい。凸凹面や壁紙などには接着できません。
木ネジの場合：ケース表面の薄いグレーのスイッチカバーを小さなマイナスドライバー等で外し、付属の木ねじで止めて下さい。

7 配線方法

壁などを貫通して配線する場合はφ5mmの穴を開けて下さい。赤いコードがプラス、黒がマイナスに接続します。
配線を延長する場合は結線を確実に行い、ステープルでの配線止めはコードを傷めますのでやらないで下さい。

8 許容電圧

作動電圧はDC12Vのみです。電圧許容範囲は10.2V～13.2Vです。**充電などでこの電圧を上回る可能性がある時は、必ずスイッチをOFFにして下さい。**内部電子回路が破損する場合があります。

9 スイッチ

ケース表面のON/OFFスイッチで作動させます。ONのポジションでグリーンのインジケーターランプが点灯します。

10 ヒートアップ

スイッチをONにしてから「スタンバイ（待機）状態」になるまでしばらくのヒートアップタイムが必要です。
スイッチを入れるとすぐに警報音が鳴り、約7～8分後徐々に音が減退し、完全に消えると「スタンバイ（待機）状態」となります。（警報音の減退時間は気温等により異なります。）

11 作動確認

グリーンのインジケーターランプが点灯したままで作動待機の状態です。以下の方法で作動テストを行って下さい。

【camp-signal P】（赤）：ガスライターの火を消した状態でガスだけを出したまま待機中の警報器に近づけると、警報音が鳴り作動確認が出来ます。換気を行いガスを検知しなくなれば警報音は自然に鳴りやみます。
【camp-signal C】（黄）：一酸化炭素の簡単なテスト方法はなく、限定的な方法ですが、コップ一杯のビールまたはウイスキーを摂取後、息を吹きかけると警報音が確認出来ます。また上記「camp-signal P」の様にガスライターやタバコの煙にも反応することもあります。本機は煙の探知機能も持っているからです。

12 警報と対処

警報音が鳴ったら、速やかに窓やドアを開け換気を行い、電気を消し、ガスコックを締め、火のついたランプはただちに消して下さい。子供達はすぐに外に出して下さい。警報の原因を調べ、その措置は専門家に依頼して下さい。

13 保守

ゴミやほこりが貯まったら、柔らかい布で取り除き、**水は絶対使用しないで下さい。**
また電子部品が破損するおそれがありますので絶対分解はしないで下さい。

ニュージャパンヨット株式会社
www.njy.co.jp